

平成24年度第2回常総市公共交通活性化協議会 会議要旨

■開催

平成24年12月19日（水） 午後1：25～2：25 常総市石下総合福祉センター 大会議室

■出席

高杉市長

委員：飯塚委員，落合委員，沼尻委員，◎鈴木委員（筑波大学），泰間委員（茨城運輸支局），牧瀬委員（茨城運輸支局），國松委員（県交通対策室），武藤委員（関鉄），松村委員（三妻タクシー），中川委員（市商工会），横張委員（市社会福祉協議会），中村委員（市企画部長），山本委員（市保健福祉部長），古谷委員（市介護長寿課長）

※◎：委員長

事務局：市企画課 増田課長，小林課長補佐，飯村係長，金子主事（記録者）

■内容

- 報告第1号 平成24年度及び平成25年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金の
内定及び交付申請の状況について
- 報告第2号 平成25年度当初予算要求について
- 報告第3号 予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について
- 議案第1号 予約型乗合交通ふれあい号の事業者運行体制の見直しについて
- 議案第2号 高齢者外出支援事業の廃止に伴う70歳以上の利用者の利用料金の変更について
- その他 予約型乗合交通ふれあい号の車両変更の報告について
いばらきコープ生活協同組合での利用券取扱い開始について

■協議内容 （◆：議長，●：委員，▲：事務局）

開会 午後1：25

【前回のおさらい】

▲：前回の会議内容を説明。

<議案>

- ・平成23年度事業報告について
- ・平成23年度歳入歳出決算報告について
- ・地域公共交通確保維持改善事業費補助金活用のための地域内フィーダー系統確保維持計画の認定について

<報告>

- ・常総市公共交通活性化協議会委員の変更について
- ・予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について
- ・地域公共交通活性化・再生総合事業事後評価の二次評価結果について

<その他>

- ・予約型乗合交通ふれあい号の車両の変更について
- ・常総市内の路線バスの状況について

【報告第1号】

- ▲：「平成24年度及び平成25年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金の内定及び交付申請の状況について」説明。

【報告第2号】

- ▲：「平成25年度当初予算要求について」説明。
- ：運賃収入について、高齢者外出支援事業との関連について、詳しく教えてください。
- ▲：来年度予算は125円分の補助金を除いて、運賃収入を計上しています。
- ：平均利用者数で算出しているのか、基準となる算式を教えてください。
- ▲：前年度の平均利用者数×運賃250円×運行日数となります。利用者の伸びは考慮していません。

【報告第3号】

- ▲：「予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について」説明。
- ：目的別利用状況の医療機関、商業施設、公共施設のそれぞれの割合を教えてください。
- ▲：11月末の数字ではありますが、10位以内については、医療機関が61.9%、商業施設が20.4%、公共施設が17.7%となります。最新の集計結果、10位以下についても今後整理しておきます。
- ：質問の趣旨は、今後のコミバス導入の検討の際は、利用先のデータが重要になるので、よく把握しておいた方が良いということです。
- ：県でも県内の市町村の協議会に参加しているが、オンデマンド交通を導入している市町村が多いが、常総市では1台・1日あたり平均16.2人、8時間で割れば、1台1便あたり約2.1人となり、他市町村では1.5人程度なので、それらと比べると乗合が高い割合で発生していると言えます。
これは市民の需要はアッパーなのか、伸びる余地はあるのか。バスとなるともっと需要がないと厳しいと思います。ニーズを把握していれば教えてください。
- ▲：ニーズについては、来年度調査を行い、アンケート等で把握したいと考えています。
- ：ニーズの掘り起こしはなかなか難しいと思います。

- ◆：報告のあったデマンドのお断り件数の分、登録していない人もいるので、もう少し伸びるはずだと思います。
- ：路線バスとの競合を考えると、この点はよく考えていかないといけないと思います。
- ◆：来年度の詳細な調査や、当研究室の研究成果もあるので、それらを活用しながら分析していくしかないと思います。
- ：目的別利用状況を見ると、旧水海道地区は8か所、旧石下地区は2か所。水海道から石下、石下から水海道の動きはどのようになっているのか。バスの路線計画をたてるのに重要なデータなので、分かる範囲で教えてください。
- ▲：以前の鈴木先生の研究室の修士の学生の研究成果の発表でも、水海道から石下の移動を示す縦の線も太くなっています。利用先は病院、郵便局、市役所がほとんどで、それぞれの地区の郊外部から中心に向かう線も太かったと記憶しています。縦方向は常総線があり、バスを走らせると重なってしまいますので、鉄道との関係も考慮すべき点です。
- ◆：時間帯によっても利用状況は違うと思うので、その点からの分析も必要だと思います。

【議案第1号】

- ▲：「予約型乗合交通ふれあい号の事業者運行体制の見直しについて」説明。
- ：運行台数が減少する16時便が少し心配です。ただ、日中については予約が取りやすくなるのではないのでしょうか。いつから実施するのか、周知はするのか。
- ▲：協議が整い次第、事業者・社会福祉協議会と調整し、実施したいと考えています。市民への周知は特に行わない予定です。
- ：承認。

【議案第2号】

- ▲：「高齢者外出支援事業の廃止に伴う70歳以上の利用者の利用料金の変更について」説明。
- ：料金の適正化の意味を教えてください。
- ▲：70歳以上という年齢を理由に割引はしないという意味です。
- ：それは年齢による区別を無くすということで、適正化とは言えないのではないですか。
- ▲：今回の趣旨はこのようになります。
- ◆：スケジュールはどうなっていますか。
- ▲：新年度当初からになります。
- ◆：次回の協議会で実施方法等について報告するということですね。
- ▲：次回ご協議いただくことになります。
- ：承認。

【その他】

- ▲：「ふれあい号の車両変更の報告について」，「いばらきコープ生活協同組合での利用券取扱い開始について」説明。
- ：茨城県では常総線の活用について研究をしているところです。人口の減少，企業の撤退等，乗客はますます減少しています。常総市内にも7駅あり，駅の活用や鉄道の利用についても，今後の議論の中で是非考えていただきたい。
- ◆：バスをフィーダー（支線）と考えれば，鉄道の駅は重要な視点です。

閉会 午後2：25